

【質問】局所麻酔剤による前処置の必要性は？

【回答】

本剤投与により、投与時反応(膀胱痛、尿道痛、膀胱刺激症状、膀胱不快感等)があらわれることがありますので、必要に応じて、本剤投与前に局所麻酔剤の膀胱内注入を行ってください。

国内第Ⅲ相臨床試験において、全例で投与前に4%リドカイン20mLの膀胱内注入を行いました。本試験における投与時反応の副作用が、49例中膀胱痛、尿道痛、膀胱刺激症状及び膀胱不快感が、それぞれ15例(30.6%)、7例(14.3%)、5例(10.2%)及び4例(8.2%)報告されました。

添付文書

8.重要な基本的注意

投与時反応(膀胱痛、尿道痛、膀胱刺激症状、膀胱不快感等)があらわれることがあるため、必要に応じて、本剤投与前に局所麻酔剤の膀胱内注入を行った上で投与すること。

RMP

重要な特定されたリスク

投与時反応(膀胱痛、尿道痛、膀胱刺激症状、膀胱不快感等)

出典:添付文書、RMP